

《 令和元年度 ごみ減量化モデル事業実績報告 》

- ① 事業期間：平成31年3月1日～令和2年3月31日（平成31年3月は準備期間）
- ② 参加世帯：30世帯（上郷区15世帯 番匠1区15世帯）
- ③ 事業内容：コンポスト容器等の活用による生ごみの減量や、水切りの徹底。
ごみ分別の徹底。特に「雑がみ」を水曜日に資源物として排出。
剪定枝や刈草の自家処理又は堆肥化。
可燃ごみ（週2回）及び紙類などの資源物（月2回）の重量測定。



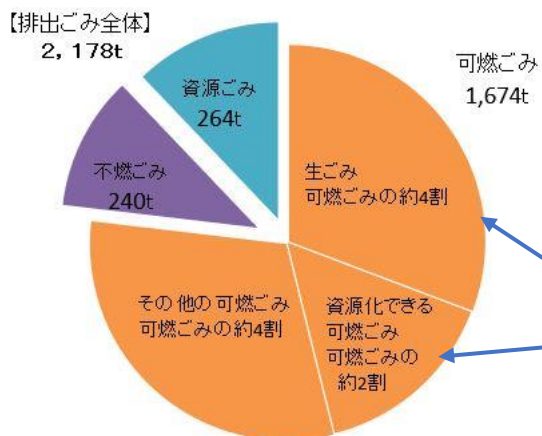
※3月は基準月とするために従来通りの出し方をお願いしています。

※3月を基準に増減を見ることから「雑がみ」の数値が3月は「0」になっています。

《経費の削減効果》

- ・可燃ごみの削減量 **2.873 t** $2.873 \text{ t} \times 35,000 \text{ 円/t} = 100,555 \text{ 円}$ の費用削減
 - ・雑がみ回収量 **1.521 t** $1.521 \text{ t} \times 5,000 \text{ 円/t} = 7,605 \text{ 円}$ の売却収入
- ※ごみの削減量合計 **4.394 t**
 ※経費削減合計 = **108,160 円**

《 令和元年度に町が排出した一般家庭ごみの内訳 》



町から令和元年度に排出された家庭系可燃ごみは約**1,674 t**。

町が令和元年度に小川地区衛生組合にごみ処理のために支払った負担金は約**1億400万円**。

この金額はごみの重量で決まります。

この部分がモデル事業で削減対象となるごみです。
(可燃ごみの約6割)